

日本語表現論 (Japanese Expression)		1 年・後期・2 単位・必修 3 専攻共通・担当 鍵本 有理
	〔システム創成工学教育プログラム 学習・教育目標〕 C-1 (80%), A-1 (20%)	〔JABEE 基準〕 (f), (a)
<p>〔講義の目的〕</p> <p>技術者は、各自の専門分野や研究内容を、他人にわかりやすく説明できる能力が求められる。また、社会人としてもあらゆる状況において、物事を説明したり、各種の文書を作成する能力が要求される。さまざまなメディアが発達した現在こそ、基本である「言葉による表現」ということを見直す必要がある。</p> <p>本講義では、日本語による表現能力（話す・書く・聞く）を養成することとする。</p>		
<p>〔講義の概要〕</p> <p>「話す」ことについて、さまざまな状況設定で実際にロールプレイなどを行うことにより、その方法を身につける。</p> <p>さらに、その内容を文書にまとめることで表現能力を高め、よりわかりやすい表現について考える。</p>		
<p>〔履修上の留意点〕</p> <p>表現するということは、日常の学習や生活に密着した問題であるので、日頃自分たちが行っている会話、目にする文章の表記や形式、表現方法について、問題意識を持つておくことが望ましい。</p>		
<p>〔到達目標〕</p> <p>① 「話す」「書く」「聞く」という表現において、基本的な知識と技法を身につける。</p> <p>② 公的な文書の形式を理解し、また、よりわかりやすい表現について考える。</p>		
<p>〔自己学習〕</p> <p>日常の生活に密着した文章等の表記や形式・表現方法への関心を持つよう努めること。</p> <p>表現力を磨くためのプリント課題を課すので、必ず提出のこと。</p>		
<p>〔評価方法〕</p> <p>授業中の演習態度・課題提出（60%）と課題レポート（40%）で総合評価する。</p> <p>教材や課題プリントは全てA4ファイルなどに保存し、随時提出することとする。</p>		
<p>〔教科書〕</p> <p>教科書は特に指定せず、プリントを使用する。</p> <p>〔補助教材・参考書〕</p> <p>国語辞典を一冊準備しておくとい（講義中に説明する）。</p> <p>「日本語を話すトレーニング」野田尚史・森口稔、ひつじ書房</p> <p>本校本科4年次の「人文科学総合Ⅰ」履修済みの者は、そのプリントを見直しておくとい。</p>		
<p>〔関連科目〕</p> <p>各自の専門科目を含めた全ての科目。</p> <p>また本校の本科4年次配当科目「人文科学総合Ⅰ」の内容をふまえて講義を行う。</p>		

講義項目・内容

週数	講義項目	講義内容	自己評価*
第1週	ガイダンス／ 問い合わせの仕方 付：文書表現の工夫	講義の進め方等のガイダンス／問い合わせをする際に 気をつけなければならない点について考える。	
第2週	自己紹介の方法① －採用面接を受ける－	各種採用試験における自己紹介の方法について、実際に 学生同士の相互評価をふまえて考える。	
第3週	自己紹介の方法② 志望動機書について	自己紹介を実践し、実際の面接時の受け答えについて、 好印象を与える面接とは何かを考える。また志望動機書 を例に、よい文章について考える。	
第4週	話し言葉の基本 (朗読・アナウンス) 表記について	話し言葉に関する基本的な知識（自然なイントネーショ ン・間の取り方）について知る。漢字についての知識（誤り やすい字・常用漢字表）を身につける。	
第5週	説明の仕方① (内容のまとめ方) 公文書の形式について	接客の場合などを例に、説明する内容をわかりやすい文章 にする方法を学ぶ。 公文書の形式について理解する。	
第6週	宣伝の仕方 (客観的表現・具体例)	客観的表現や具体例を使い、相手にわかりやすく伝える方 法について考える。	
第7週	手紙の書き方・敬語	手紙の形式や敬語に関する知識を身につける。	
第8週	説明の仕方② (道順)	道順の案内を例に、物事を順序立てて説明する方法を身に つけ、その際の注意点を考える。	
第9週	インタビューの仕方 (聞き書き)	上手な聞き手になるための方法について、質問の方法など 具体的な手法を考える。	
第10週	スピーチ等のマナー はがきの書き方	スピーチを行う際の注意点を考える。その他社会常識とし てのマナー、返信用はがきの書き方等についても理解する。	
第11週	悪文について (助詞・副詞を中心に)	わかりにくい表現について、日本語の特性をふまえ簡単に 修正する方法について理解する。	
第12週	説明の仕方③ (手順の説明)	さまざまな状況において、手順を説明する方法（メモ・掲 示物などの作成方法）を身につける。	
第13週	会話について 説明の仕方④ (平易な表現)	外国の人とのコミュニケーション、あるいは子供を相手と した場合の説明の仕方について考える。	
第14週	説明の仕方⑤ (データのまとめ方)	データを分析し、わかりやすく説明する方法について考え る。課題レポートの説明。	
第15週	まとめ／ わかりやすい表現とは	これまでの講義の内容をふまえ、わかりやすい表現につい てまとめる。	
試験（課題レポート）			

* 4：完全に理解した， 3：ほぼ理解した， 2：やや理解できた， 1：ほとんど理解できなかった， 0：まったく理解できなかった。
(達成) (達成) (達成) (達成) (達成)